

# 周期判別方式 HB形踏切障害物検知装置

HB-Type Level Crossing Obstacle Detection Equipment

HIDランプ光の影響を受けず、隣接踏切との相互干渉も防ぎます



HBS-LE1

HBS-LE2

項目	HBS-LE1	HBS-LE2
電源電圧 (V)	AC 100~110、DC 24±1	
制御長(m)	1対向10~40	
受光余裕度(dB)	40以上	
発光制御	列車接近発光	
周期設定(ms)	A形 2.4、B形 2.8、C形 3.2	
周囲温度(°C)	-10~+60	
方式	光ビーム遮断方式	
備考	1重系	2重系

発光側は特定周期で発光し、受光側で周期の判定が可能な方式です。HIDランプからの影響を受けず、隣接踏切との相互干渉も防ぐことが可能です。

## 特長

### HIDランプの影響を受けません

受光器は発光信号と同一周期の信号を取り出すため、HIDランプの影響を受けません。

### 既設外線ケーブル・器具箱の利用が可能です

既設HB形の発光器・受光器本体を本方式に交換するだけで、外線ケーブルや制御器(器具箱)は既設の使用が可能です。

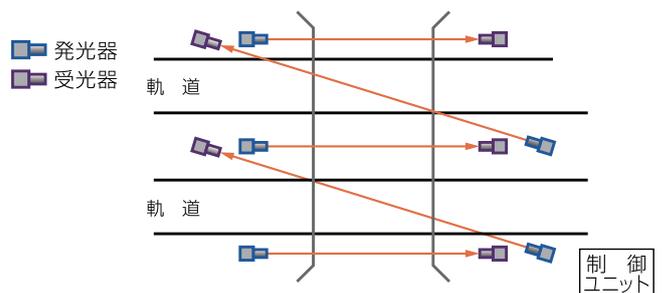
### 隣接踏切との相互干渉がありません

受光信号の周期照合によって、発光器の選別が可能であり、発光周期の異なる3種類の発光器、受光器を使用することで隣接踏切との干渉を防止できます。

## 標準構成例 (複線)

本装置は、発光器、受光器、制御ユニット(電源・制御リレー共)を主体に、その間を接続するケーブルなどで構成されています。

発光器、受光器は向かい合わせの1組で設置され、その使用数は踏切の幅員、線数に応じて決定されますが、一般的な標準複線では1踏切に対し5組が使用され、制御ユニットは1台となります。



### 1踏切当たりの機器構成例 (2重系5組)

形式	機器名称	数量	備考
HBS-LE2-S	発光器	5	ヒータ付防塵フード付
HBS-LE2-R	受光器	5	ヒータ付防塵フード付
-----	制御ユニット(器具箱)	1	制御回路、電源実装
-----	発・受光器取付支柱(1灯用)	必要数	
-----	発・受光器取付支柱(2灯用)	必要数	

### 1踏切当たりの機器構成例 (1重系5組)

形式	機器名称	数量	備考
HBS-LE1-S	発光器	5	ヒータ付防塵フード付
HBS-LE1-R	受光器	5	ヒータ付防塵フード付
-----	制御ユニット(器具箱)	1	制御回路、電源実装
-----	発・受光器取付支柱(1灯用)	必要数	
-----	発・受光器取付支柱(2灯用)	必要数	

※1. 発・受光器取付支柱(2灯用)は、発光器、受光器を組合わせて取り付けることができます。

2灯使用時は1灯用の数量が削減できます。また段差2灯用も用意しております。

※2. 制御回路については、各条件により種々の回路構成が可能です。